



「とうたす班 7年間の思い出」

齋藤 敬太

とうたす班で皆さんと一緒に仕事をしてきて、今年の7月で7年が経とうとしています。

当時、とうたす班に配属された際に、所員の皆さんがそれぞれ自分のパソコンを駆使して、熱心に仕事を行う姿を見て、仕事にやりがいと熱意を持って取り組んでいるのだと感じたことを今でも覚えています。

当初、全く使い方の分からないパソコンのソフトや沢山ある印刷機の操作を先輩から教えてもらい、とても苦労しながら覚えたという記憶があります。それでもソフトの使い方分からないことがあれば、操作に詳しいとうたす班の所員さんに教えてもらうことも多々ありました。(未だに教えてもらっていたこともしばしば…)

ただ、その大変な経験や所員の皆さんの支えがあったからこそ、今までとうたす班の職員として頑張ってきたのだと思っています。今ではそれも良い思い出になっています。

仕事以外の場でも、とうたす班だけで行ったレクリエーションでは、毎年とうたす班全員で計画を立て、まんばく(全国各地の美味しいものが食べられるイベント)やチーズフォンデュ、ホテルビュッフェ、おしゃれなカフェのランチを食べに行き、いつもとは違った雰囲気と時間を皆さんと楽しんだことも良い思い出です。

辛かったことや楽しかったことも含めて、風の作業所では本当に沢山のことを学び、得ることができました。それは私の中で経験と知識として蓄え、これからの仕事でも活かしていきたいと思います。

また、これまでの時間を皆さんと一緒に共有できたことは、これからの人生忘れることはありません。

これからも皆さんの生活が楽しく、健康で送れることを願っています。7年間本当にありがとうございました。

ありがとう

とうたす通信

発行 あさやけ風の作業所内 とうたす班
〒187-0033 小平市中島町 3-8
TEL 042(349)2366 toutasu@asayake.or.jp
<http://www.asayake.or.jp/kaze.html>

No.329
2021年7月20日

ありがとう

いっしょに ねんじごと
一緒に7年仕事をしてくれて

ありがとう

あなたはよく気がつく

人だったね

お茶の時間と

昼食時間になると

自分から進んで

お茶を汲んで来たり

机もふいている姿が

目に浮かんでくる

いろんな面で

ありがとうございました

お疲れ様でした

詩
賞



Shozo

短歌

一、 傷つきし果実のごとくに恐れ入り
一、 休日は緊張緩和剤のまなくも
居眠りばかりに原稿書けず
人恋う事も忘れし心

竹内 桃子

